



※2)中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis :TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群があらわれることがあるので、観察を十分に行い、発熱、紅斑、掻痒感、眼充血、口内炎等の症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

	0.1～5 %未満	0.1%未満	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹・発赤		
消化器		下痢、胃部不快感、悪心・嘔吐、食欲不振	口内炎
肝臓		肝機能障害 (AST (GOT)、ALT (GPT)、Al-P、γ-GTP、LDHの上昇等)	
その他			めまい

注) このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

3.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4.適用上の注意

薬剤交付時（錠）
PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜に刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている）

【薬物動態】

血中濃度

健康成人男子10名を2群に分け、一夜絶食後、5例にノイチーム錠90mgを単回経口投与し、5例をコントロールとした。各群の血清リゾチーム濃度を酵素免疫法によって測定したところ、ノイチーム投与群では血清リゾチーム濃度が投与後1時間以内に1,700pg/mLに達した後漸減し、投与後48時間で検出限界以下となった。コントロール群では血清リゾチームは検出されなかった。(2)

※※※【臨床成績】

臨床効果

二重盲検試験を含む一般臨床試験で喀痰咯出困難を主訴とする気管支炎等に対する有用性が認められている。(1)

※【薬効薬理】

1.膿粘液の分解・排出作用

試験管内実験において、副鼻腔炎患者の鼻汁を分解し粘稠度を低下させる。また、ヒト鼻腔粘膜より採取した線毛細胞の線毛運動が有意に増加することが認められている。(3)(4)

2.炎症時の組織修復促進作用

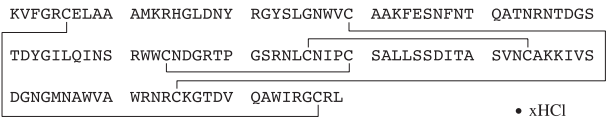
鶏胚心臓、ヒト鼻腔粘膜、ラット皮下組織から分離した線維芽細胞の培養実験において、本薬の添加により線維芽細胞の増殖は著明に促進された。(5)

※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：リゾチーム塩酸塩 (Lysozyme Hydrochloride)

分子式：C₆₁₆H₉₆₃N₁₉₃O₁₈₂S₁₀・xHCl

※構造式：



物理化学的性状：

リゾチーム塩酸塩は白色の結晶又は結晶性、若しくは無晶性の粉末である。
本品は水に溶けやすく、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。
本品は吸湿性である。
本品3gを水200mLに溶かした液のpHは3.0～5.0である。

【包装】

ノイチーム錠10mg.....100錠（PTP）
ノイチーム錠30mg.....100錠（PTP）・500錠（PTP）
ノイチーム錠90mg.....100錠（PTP）・500錠（PTP・バラ）
ノイチーム顆粒10%.....100g・540g（分包0.9g×3×200）
ノイチーム細粒20%.....100g

※※※【主要文献】

文献請求番号

- ① 青木憲一ら：基礎と臨床，20，517（1986）NZ-0652
- ② Hashida, S. et al.：Clin. Exp. Pharmacol. Physiol., 29，79（2002）NZ-0792
- ③ 今村忠司ら：耳鼻咽喉科臨床，61，748（1968）NZ-0058
- ④ Hisamatsu, K. et al.：Acta Otolaryngol., 101，290（1986）NZ-0666
- ⑤ Takaoka, T. et al.：Jpn. J. Exp. Med., 42，221（1972）NZ-0118

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

エーザイ株式会社 hhcホットライン
フリーダイヤル 0120-419-497

製造販売元



サノバ株式会社
群馬県太田市世良田町3038-2

販売元



エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10